

「回復期脳卒中患者における視覚的注意機能訓練が  
ADL 能力の改善に与える効果（パイロットランダム化比較試験）」

のため当院に入院された脳卒中患者さんを対象とした  
診療録の情報をういた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 東京湾岸リハビリテーション病院  
リハビリテーション部  
職名 作業療法士  
氏名 南部美帆  
連絡先電話番号 047-453-9010

実務責任者 所属 東京湾岸リハビリテーション病院  
リハビリテーション部  
職名 作業療法士  
氏名 南部美帆  
連絡先電話番号 047-453-9010

当院では、上記の臨床研究を、当院倫理審査会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しております。

それにあたり、東京湾岸リハビリテーション病院に入院されている患者さんの診療録等を事前に確認させていただいております。そのうえで、以下の「1.対象となる方」の基準に該当される方においては、担当者より本研究のご参加についてのご希望をお伺いさせていただくことがあります。

本研究への協力を望まれない利用者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

#### 1 対象となる方

西暦 2026年3月6日（承認日）より、東京湾岸リハビリテーション病院に入院中の患者さんを対象に診療録の事前閲覧をさせていただきます。その中で、本研究では以下の基準に該当する方を対象に参加を募らせていただいております。

- ・当院に入院された初発の脳梗塞または脳出血の方
- ・発症から3ヶ月以上経過されている方
- ・発症前の日常生活動作が自立されていた方

## 2 研究課題名

承認番号 322

研究課題名 回復期脳卒中患者における視覚的注意機能訓練が ADL 能力の改善に与える効果  
(パイロットランダム化比較試験)

## 3 研究実施機関

### 研究実施機関

東京湾岸リハビリテーション病院

### 研究実施責任者

南部美帆

### 研究分担責任者

熊谷 将志、高林 真吾、磯貝 菜央、阿部 優生、  
相樂 華保子、畝地 陽菜、和住 若奈、山田 実、  
大川 皓平、松本 博樹

## 4 本研究の意義、目的、方法

本研究の目的は、回復期脳卒中患者における視覚的注意機能訓練が聴覚的注意機能訓練と比べて ADL 能力の改善に与える効果を明らかにすることです。また、リハビリテーション医療・医学の更なる発展のため、調査結果は学会や論文で発表させていただきますが、個人を特定するような情報が公表されることは決してございません。

## 5 協力をお願いする内容

本研究でご協力をお願いする内容は、同意を得られた方を介入群または対照群に無作為に振り分けさせていただき、通常のリハビリテーション介入に加えて、介入群・対照群それぞれ 1 回約 20 分の介入を週 5 日×3 週間実施させていただきます。介入群では、@Attention という PC ベースのリハビリテーションツールを使用します。タッチパネルで表示されるオブジェクトを選択したり、削除したり、着色したりする視覚的な課題になります。対照群では、標準注意検査法の中に含まれる、PASAT (Paced Auditory Serial Addition Task)を使用します。CD から流れる 1 桁の数を聞いて、前後の数を加算して回答する聴覚的な課題になります。介入の実施前後及び退院時に 30 分程度の評価を実施させていただきます。

また、研究を実施する前に「1.対象となる方」の基準に該当される方を選定するために、診療録を事前閲覧させていただくことをお願いしております。閲覧させていただく情報は、年齢、性別、発症日、当院入院日、発症から入院までの期間、身長、体重、併存疾患、既往歴、発症前の自立度 (日本語版 modified Rankin Scale ; mRS)、在院日数、診断名、損傷側、損傷部位 (脳画像)、脳卒中再発の有無、血清アルブミン値、栄養状態 (Geriatric Nutritional Risk Index)、利き手、運動機能 (Stroke Impairment Assessment Set-motor ; SIAS-m)、筋力 (握力)、認知機能の評価結果 (Mini-Mental State Examination-Japanese ; MMSE-J)、注意機能の評価結果 (Trail Making Test 日本版 ; TMT-J の Part A/ Part B、Behavioral Assessment of Attentional Disturbance ; BAAD、Paced Auditory Serial Addition Task ; PASAT、@Attention の評価ツール)、半側空間無

視の評価結果（Stroke Impairment Assessment Set－視空間認知スコア）、失語症の有無、日常生活状況（Functional Independence Measure；FIM）、リハビリテーション実施単位数、入院中の転倒歴です。

## 6 本研究の実施期間

西暦 2026年3月6日（承認日）～ 2029年 3月 31日

## 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う利用者さんの個人情報、年齢、性別、発症日、当院入院日、発症から入院までの期間、身長、体重、併存疾患、既往歴、在院日数、診断名、損傷側、損傷部位（脳画像）、脳卒中再発の有無です。
- 2) 本研究で取り扱う利用者さんの質問紙の回答結果と診療録の情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 利用者さんの個人情報と、匿名化した質問紙の回答結果と診療録の情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の研究機関等には一切公開いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

- ・ 対応者の氏名： 南部美帆
- ・ 所属： 東京湾岸リハビリテーション病院
- ・ 問い合わせ方法： 電話、FAX
- ・ 連絡先： TEL 047-453-9010、FAX 047-453-9002
- ・ 対応可能な時間帯： 12:00～12:50、17:00～17:30

\* 対応者が不在の場合には、お手数ではございますが、改めてのご連絡をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上